

人と知と時をつむぐ「とみやの環」

富谷市は「住みたくなるまち日本一」の実現に向け、まちづくりを進めています。
丘陵地の中に新旧が融合した歴史と魅力のある市です。私たちは「ひと」をつなぎ、時をつむぎ、未来をつくる「とみやびと」のための複合施設を提案します。



ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体 Engineer	Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計	Note	Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI	Name of Drawing コンセプト	Scale N.S.	Drawing No I.01. 01
----------------------------------	-------------------------------------	------	---	--------------------------	---------------	---------------------------

計画説明書【検討の経緯】

持続可能な管理運営上の仕組みや地域コミュニティ

仕込み(人・ソフト)×仕掛け(もの・ハード)=持続可能な仕組みづくり

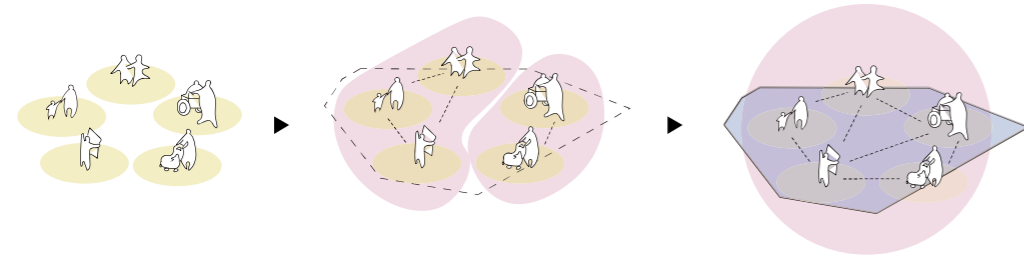
「ひと」をつなぐことで仕込みをつくり、そしてその「ひと」を活かし輝かせる仕掛け(もの・ハード)を提案することで、良い仕組み(こと・運営)をつくります。

仕込み 富谷市は既に子育てネットワークや子ども食堂などの活動が盛んです。本計画はこれらをつなぐ活動を助長します。中高生も参加した地域情報誌やSNSでの発信など、CFC(ユニセフの子どもにやさしいまち)実践自治体として、「子どもの参画(参画のはしご)」を促します。計画段階からわくわくする未来を担う「とみやびと」を育てます。

仕掛け 本複合施設には地域の人々が能動的に施設運営に関わることでできる場を提供します。それら異領域の人々がインフォーマルな関係性の中で触発できる場所です。

市民参加型ワークショップ「本とスイーツととみや時間」

10月から2月までの間に本計画の敷地である成田公民館でワークショップを行いました。各回約30人の市民にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。アイスブレイクでは入場してきた市民の皆さんと設計スタッフが直接話し、設計案へのご意見やWSの共有などを行いました。グループワークでは宮城大学佐々木先生のファシリテートのもと、活発な意見交換が行われました。市民の方々の複合施設への熱い思いを感じるワークショップとなりました。



■複数の機能をひとの輪が融合する

第1回市民ワークショップ「キックオフ回」

日時:2022年10月30日(日) 16:00-17:30

参加人数:32名

初回のWSとしてプロポーザル案のお披露目を行い、参加者の皆さんと複合施設での時間の過ごし方を考えました。



第2回市民ワークショップ「ブラッシュアップ回」

日時:2022年12月3日(土) 14:00-15:30

参加人数:26名

音のすみわけの必要性、複合施設にほしい空間、やってみみたい企画のアイデア、設計の気になる点について意見交換を行いました。



第3回市民ワークショップ「フィードバック回」

日時:2023年2月23日(木・祝) 14:00-15:30

参加人数:23名

WSで頂いた意見を参考にブラッシュアップした案をお披露目し、模型を見ながら複合施設のイメージを共有しました。



<p>ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p>	<p>Engineer</p>	<p>Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計</p>	<p>Note</p>	<p>Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 検討の経緯</p>	<p>Scale N.S.</p>	<p>Drawing.No 1.02. 01</p>
-----------------------------	-----------------	---	-------------	--	----------------------------------	-----------------------	------------------------------------

富谷市民図書館等複合施設 市民ワークショップ

本とスイーツととみや時間

第2回 クローズアップ回

開催概要

日時: 2022年12月3日(土)

14:00-15:30

場所: 成田公民館

参加者: 26名

趣旨: 前回いただいた意見をもとに設計案をクローズアップし、議論を深める



今回も子供から高齢者まで幅広い年代の方に参加していただき、ワークショップ開始前から、中央の大テーブルに展示された大きな報告シートと模型の周りで参加者と設計者の意見交換が行われました。市長の挨拶に続き、市より計画の概要について説明しました。



当日の流れ

設計案の説明

前回に引き続き、宮城大学の佐々木先生のファシリテートのもと、まず設計チームから設計案の説明が行われました。図書館、遊戯施設、スイーツステーション、公民館の4つの施設が融合する複合施設であることを具体的に説明し、さらに、国内外の複合施設事例の写真を使って具体的に紹介も行われました。

グループワーク

市民の方々に「本好きの60代男性」などあらかじめ設定された人物になりきってもらい議論を行いました。前回いただいた意見からいくつかのキーワードをピックアップし、それらについてグループワークを行いました。前回に比べ、より具体的なアイデア、ご意見をいただきました。



全体発表

WSの最後には、各テーブルの代表者が、それぞれの場所から意見の発表を行い、全体で共有しました。設定人物になりきることでより客観的かつ多角的な意見が発表されたほか、発表グループの枠組みを超えて、様々な意見をいただきました。



図書館①

知らないジャンルとの出会い

・「これを借りた人は～な本を読んでいます」などの Amazon みたいなリマインド機能

静かに読書

・複合施設なので難しいのではないかと
・周りに影響されない場所、区切られたスペース

クラウドを活用してタブレットで読書

・過去に読んだ人のメモが見れる
・蔵書数が少ないためこれをクラウドで補えば良いのではないかと

夜間利用

・仕事帰りに本を受け取れていい
・泊まれる図書館

時間つぶし、日向ぼっこ、居眠り

・音楽を聴きながらゆったりできるブース

読書会・お喋り会

・館内ラジオ ・大人の朗読会

図書館②

音のすみわけ

・音に対する要望は人によって様々ですべてをクリアすることは難しい
・新しい施設はおしゃべり可能で公民館は静かなスペース
・図書館全体を静かにしなくてもいいが、静かな部分もほしい

図書館(=静)と子供(=動)が共有できる場所

・静と動の両方が許される場がある
・母子分離で母も子も充実できる時間
・遊戯施設で見守る人をボランティアにすることで子供が好きな人が見守ることができるのではないかと
・せっかく遊戯施設があるのだからという苦情が来なくてもいい空間づくり、制度を作る

新しい本、知識との出会い

・市民の人々が本を持ち寄れるコーナーが欲しい
・本を通して、人と間接的に文字を通して会う

お茶を飲みながら読書

・音楽、匂い、コーヒーのある場所で読書

安心して遊べる空間

・遊戯施設で見守る人をボランティアにすることで子供が好きな人が見守ることができるのではないかと

地域活動

公民館との連携

・旧図書館をフレキシブルに使えるようにする
・現在、調理室が気軽に使いにくい
・子供食堂のための開かれた調理室

市民活動の拠点

・様々な世代や立場の人が共存することは難しいが、色々な目的を持った人がそれぞれのことを尊重しながら活動が助け合えるような施設を富谷市民みんなで作りたい

人との出会いの場

・多少騒がしくしても、自由なことをしても、許し合えるような施設にしていきたい

スポーツ

・市内のスポーツクラブチーム小中高の部活の試合などの映像を観れるような連携

外の遊び場の確保

・体育館側の黒い砂利の所をこどもの遊び場にしたい
・内だけではなく外にも席があってほしい

設定人物像

- ・本はあまり読まない 21 歳女性
- ・富谷市民図書館で司書として働いている 32 歳男性
- ・日中ゆったりとした時間を過ごしたい 50 歳女性
- ・読書は好きだが、図書館に滞在するつもりはあまりない 51 歳男性
- ・孫と遊ぶのが好きな 72 歳男性

設定人物像

- ・富谷高校に入学したい女子中学生
- ・部活が休みだったので勉強しに来た 17 歳男子高生
- ・家だと勉強出来ないの勉強しに来た女子高生
- ・メーカースペースを利用しに来た 16 歳男子高生

ヤングアダルト

放課後の寄り道に入れる施設

・綺麗な光が入っていたり、外の景色がよく見えたりする映える学習スペース

学校図書館との連携

・学校内で図書館の蔵書を調べられたらいい

夢に向かって頑張るを支える空間

・メーカースペースで創作したり、自分で作ったものを販売できる空間があると、やりたいことや夢が広がるのではないかと

悩みを相談できる空間

・栄養士さんと話せる(専門的に悩み相談できる)

スイーツ

・栄養士監修のスイーツを作って売る

友達とおしゃべり

・タダで友達とお話できるスペースあったらいい

設定人物像

- ・寝る前に本を読んでもらうのが好きな女の子
- ・放課後に保護者の帰りを待っている小学生
- ・外遊びが好きな未就学児をつれた 29 歳父親
- ・子育てが終わった、52 歳女性
- ・1 児の母、こどもを図書館に通わせたい 38 歳女性

親子

子供の好奇心(知、動)が活きる場所

・絵本は表紙が見える並べ方にしてほしい
・読み聞かせの日(0歳~3歳)がある。平日午前だけでなく日曜もしてほしい
・絵本と学習本で分けて、夏休みの宿題ができるとうれしい

外の遊び場の確保

・外に繋がる滑り台がほしい ・雪遊びができるといい

安心して遊べる空間

・ブレイリーダー(見守りの人)1階と2階に1人ずつ居てほしい

図書館

・本棚の間はベビーカーが通れる幅にしてほしい
・自動貸し出し機がほしい

スイーツ

シェアキッチン

・月一回子供と一緒にスイーツイベント(製造体験・試食)
・調理室とスイーツ工房の合体

本や物語とのつながりのあるスイーツ

・絵本に出てくるスイーツの再現(ぐりとぐら・カラスのパン屋さん)

スイーツで起業

・商品開発に必要な機材(本格的なオープン、和菓子用、洋菓子用の各設備)を確保できるのか、またそれらを配置するだけの十分なスペースがあるのか
・パティシエさん同士の交流イベント

居酒屋と本と私

・夜静かな図書館で酒を飲みながら本を読みたい

コーヒーブレイク

・カフェの店員さんと交流したい

設定人物像

- ・設定人物像
- ・社会人1年目、富谷が好きな 22 歳男性
- ・ミニバスのコーチをしている 36 歳男性
- ・地域づくりに関心がある 45 歳男性
- ・子育て支援に興味がある 55 歳女性

- ・スイーツ作りが趣味な 20 代男性
- ・富谷市でスイーツ店を起業したい 32 歳男性
- ・アートと陸上好きな女子中学生
- ・2 児の母、転動で富谷に引っ越してきた 28 歳女性

ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体	Project Title	富谷市民図書館等複合施設整備基本設計	Note	Date	2023/03/17	Name of Drawing	ワークショップ記録2	Scale	N.S.	Drawing.No	1.02.03
----------------------	---------------	--------------------	------	------	------------	-----------------	------------	-------	------	------------	---------

本とスイーツととみや時間

第3回 フィードバック回

開催概要

日時: 2023年2月23日(木・祝日)
13:30 開場, 14:00-15:30

場所: 成田公民館

参加者: 25名

趣旨: これまでにいただいたご意見・アイデアを反映した設計案を説明し、新しい複合施設のイメージを共有する。



■図書館2F北から吹き抜けを見下ろす
成田公民館と新施設を緩やかにスロープでつなぐ



■富谷学びと交流の広場
富谷の縁側に面したカフェとブックラウンジを囲むスロープ



■クリエイティブ広場と児童書エリア
メーカースペースに連続した子どものクリエイティブ広場

第1回 第2回市民ワークショップでいただいた様々なご意見を反映し、設計案をブラッシュアップしました

児童のみや親子連れが安心して過ごせる居場所がほしい

母子分離で母も子どもも充実できる時間
見守りスタッフがいて気軽にお話しできる
プレイリーダー（見守り）1階と2階に1人ずつ居てほしい
富谷市は子育て世代が多いので、お母さんたちが気軽に来れるような場所になったら良い
子供が自分で紙芝居の読み聞かせができる舞台がほしい
読み聞かせコーナーは区切らないと気が散ってしまう
絵本は表紙が見える並べ方にしてほしい

図書館の児童書エリアと児童屋内遊戯施設 2階「静」のエリアとの融合 クリエイティブ広場を計画

吹き抜けの吸音・防音性が気になる
子どもをターゲットにするのであれば、音のすみわけは難しい
吹き抜けはもったいない
滑り台・ネットなど遊べるスペースを増やしてほしい

音環境に対する懸念を考慮し、児童屋内遊戯施設の吹き抜けを階段部分のみに縮小

旧図書室をフレキシブルに使えるようにする

オープンスペースを充実させてほしい
ゆったりできる空間よりも座席数を増やして気軽に立ち寄れる座れなくなる人を減らしたい
いろいろなタイプで多くの席を設置してほしい
静かなスペースも欲しい
周りに影響されない場所、区切られたスペースがほしい
例えば、新しい施設はおしゃべり可能で公民館は静かなスペース
静かに読みたい人のプライバシーの確保も必要
集中して勉強

図書館と公民館の相互利用を図り、「個」かつ「静」を求める学習室と静寂読書室を公民館に配置し 図書館内のオープンスペースを確保

コーヒーとスイーツでおしゃべりしたい
音楽、匂い、コーヒーのある場所で読書
音楽を聴きながら本を読みたい
くつろぎながら本を読みたい
人との出会いの場であってほしい
景色が見える場所でコーヒーと本
ふらっと人が立ち寄れるオープンスペース
人々が出会える場所を設ける
月一回子供と一緒にスイーツイベント（製造体験・試食）
絵本に出てくるスイーツの再現
ぐりとぐら、からすのパン屋さん
調理室とスイーツ工房の合体
スイーツの新商品開発

スイーツ工房、ショップ、カフェを近くに配置し スイーツステーションを中心とした交流ロビーを計画



綺麗な光が入り、外の景色がよく見える映える学習スペース
グループ学習ができる空間が欲しい
勉強したい
受験勉強に使える参考書の貸し出し
受験生同士が受験勉強の悩み相談できるスペース

ヤングアダルトコーナーを充実

交流イベントを開催してほしい
大人の朗読会
読書会ができて、人々と交流できる場所が欲しい
読書会や勉強会をオープンスペースでやりたい
カフェで新しい活動について本を読みながらおしゃべりして企画する
館内ラジオ
地域との世代間交流、高齢者が集まれる

外部とも繋がるオープンな多目的広場を計画

地域の情報がわかる場所
人々が出会える場所を設ける
本を通して、人と間接的に合う（文字を通して）
ふらっと人が立ち寄れるオープンスペース
仲間・情報が欲しい
知識欲を満たす
みんなのオススメの本コーナー

スロープ吹き抜け中央にブックラウンジを計画

学校と連携してほしい
学校内で図書館の蔵書を調べられる
図書館の部活動（例：本の勉強会、演劇、発明、おもちゃ）

夜間利用できると仕事帰りに立ち寄れる
夜静かな図書館でお酒を飲みながら本を読みたい

蔵書数が少ない分、クラウドで補えれば良いのでは
悩みに対応した帯の分け方
自動貸し出し機がほしい
図書館の機能を充実させてほしい

スタッフスペースを集約共有化し、合理的な動線、視認性、利便性、働く環境に配慮

外の遊び場を確保してほしい
野外の体を動かせる場所がほしい
砂場セット貸し出し
自然を活かしたスペースがほしい
外にも居場所がほしい
外で本が読めたら気持ちいい
内だけではなく外に席があってほしい

敷地内に築山や外部テラスを計画

本とスイーツととみや時間

第3回 フィードバック回

開催概要

日時: 2023年2月23日(木・祝日)

14:00-15:30

場所: 成田公民館

参加者: 約30名

趣旨: これまでにいただいたご意見・アイデアを反映した設計案を説明し、新しい複合施設のイメージを共有する



基本設計の締めくりとなる今回は初参加の方も多く、子供から高齢者まで幅広い年代の方に参加していただきました。ワークショップ開始前から、中央の大テーブルに展示された1/100模型の周りで参加者と設計者の意見交換が行われました。市長の挨拶に続き、市より計画の概要について説明しました。

当日の流れ

設計案の説明

前回に引き続き、宮城大学の佐々木先生のファシリテートのもと、まず設計チームからこれまでのワークショップでいただいた意見やアイデアが盛り込まれた設計案の説明が行われました。

グループワーク

受付時に「今気になる本」を選んでいただき、その本でグループ分けを行いました。複合施設での過ごし方を具体的に考えてもらうために、設計スタッフが補助しながら動線に線を引き、滞在場所にシールを張っていきました。その中でお気に入りの場所の一つ見つけてもらい意見交換を行いました。



旗揚げ

グループワークで見つけたお気に入りの場所を実際に1/100模型に旗をさしてもらいました。旗にはそこで何がしたいか等、書いてもらいました。



全体発表

WSの最後には、各テーブルの代表者がそれぞれの場所から発表を行い、全体で共有しました。どのようにすごしたいかや複合施設にける熱い思いを発表していただき、基本設計の締めくりとなりました。今回のご意見を十分に受け止めて実施設計に反映していきます。



第3回市民ワークショップでいただいた様々な意見をまとめました

ハーブガーデン

ハーブガーデンで、ハーブティーやコーヒー、スイーツ片手に読書。

ベンチに座ってゆっくりしたい。パラソルの東屋がほしい。

フレッシュハーブ（レモングラスなど）をお茶にしたり、冬になる前にハーブの鉢上げをしたりする。

ハーブガーデンに寄って帰る。交流が生まれる。外で本を読む。

通路としてだけでなく、交流が生まれる、人と人の全世代の融合が見える場所になってほしい。

ハーブボランティアの方との交流。ボランティア活動に興味関心を持ってもらう。

ハーブガーデンのボランティアをしている、今30名くらいハーブガーデン。17年前からある。新しいものだけでなく、昔からあるハーブガーデンにも興味を持ってほしい。

ハーブガーデンにも人が来て欲しいな。→既存のハーブガーデンが、新たな計画にも馴染むように設計してくれるといいな。

クリエイティブ広場

小学生のお子さん、何か作りたいと言いそう！

子供がくつをぬいで過ごせるといい ビニールテントがあると
フカフカのカーペットとか大人も寝ころびたい 冒険感があっつい

大人でも寝ながら本が読めるといい 下を見て子供が喜びそう。

子供の絵本を楽しみたい自分が読み聞かせたい本を探したい

子ども、おとなも一緒にいる空間で。本を読む

お話に参加して楽しみたい

スキマが開いていると子どもが落ちる 子どもと一緒に本を読んでお話を
(狭いところに入るから)

子ども達の楽しむ様子を見学 調べ学習系の本を物色 児童書近くに(調べ学習)
(一緒に楽しむ) (読み聞かせ本も)

えんがわ

外を眺めながらカフェの飲み物を飲みつつ、外を見ながら本を読みたい
ゆっくり読書したいです！

天気の良い日 テントを張ってイベントしたい
イベントのある日は @とみやの縁側
外をまんべんなく散策したい

スイーツ

スイーツステーションでハーブを使う 美味しいコーヒーやお菓子でくつろぎたい
(今年に数回の公民館祭りでハーブの コーヒー買う
商品を出している) プロにお菓子作りを教わる 借りた本を読む

工房で達人を見学 イベント参加(スイーツ)
奥さんとコーヒーとスイーツを片手に本を読む

アスレチック広場

遊びたい

子供だけで遊んでも良いか? 孫の様子を見る

大人も楽しめる場で 子どもは遊ぶ
あってほしい

子どもを預けたい 市民の声を聞きながら
流動的に動けるといい

●: 滞在场所 ●: お気に入りの場所 → (各色): 動線

スロープをのぼりつつ
書架を眺める
私の本棚

スロープ

何冊あるかわからないけど
スロープの本棚はいい感じ。

YA

YAの書架をながめる
友達とおしゃべりする

成人書架

成人開架で本を閲覧

興味のある本を選ぶ
携帯を使って勉強 (コンセントを使用して充電しながら)
半個室で作業 本日のメイン
図書館でお泊り会。 一般書架で借りる本を選ぶ
好きな本を好きなだけ読む。 成人の書架をながめる
WSで作業 本を探して借りる 読書

レファレンス

おすすめの本を借りる
イベント情報等質問 本を借りる、予約

一般書と自分の関心のある本を 本を探して借りる
リファレンスしたり貸出しをしたい
本を借りる 本の相談(必要あれば)

多目的広場

好きな本を読むだけでなく
夜の図書館でお酒を飲み
ながら朗読会参加

席を変えて作業

ブックラウンジ

交流と学びの広場 新しい情報を知る

子育てを忘れて読書

新刊や展示本をチェック

ぎふメディアコスモス良かった。そんな
感じのラウンジができそうで嬉しい。

ブックラウンジでおすすめの本を見る

新刊のチェック ハーブを調べる。
展示を見る ハーブの本を見に行く。
書架を閲覧しながら 新書コーナーがほしい
司書さんの考えを楽しむ

カフェ

最後にカフェや飲み物
で疲れを癒す

甘いものや飲み物を買う

本を選んでカフェでコーヒー
を飲みながら読書

cafeで一息つきたい

駐車場

やや広めの駐車場だと
乗り降りが楽

帰宅。駐車場はコストコ並
に広くしてほしい

必ず車いすの駐車場
で乗り降り

屋外

最初に散策

ハーブガーデンのハーブを少し南側
にも持っていける? ボランティアで
維持管理のお手伝いできます。

晴れた日、春の日に外で本を読みたい
外に出てリフレッシュ

子供を見守るためのベンチがほしい

焚火で多世代交流

散歩しながら運動不足解消健康づくりをしたい

計画説明書【配置計画】

04 まちづくり及び景観との調和と成田公民館との連携

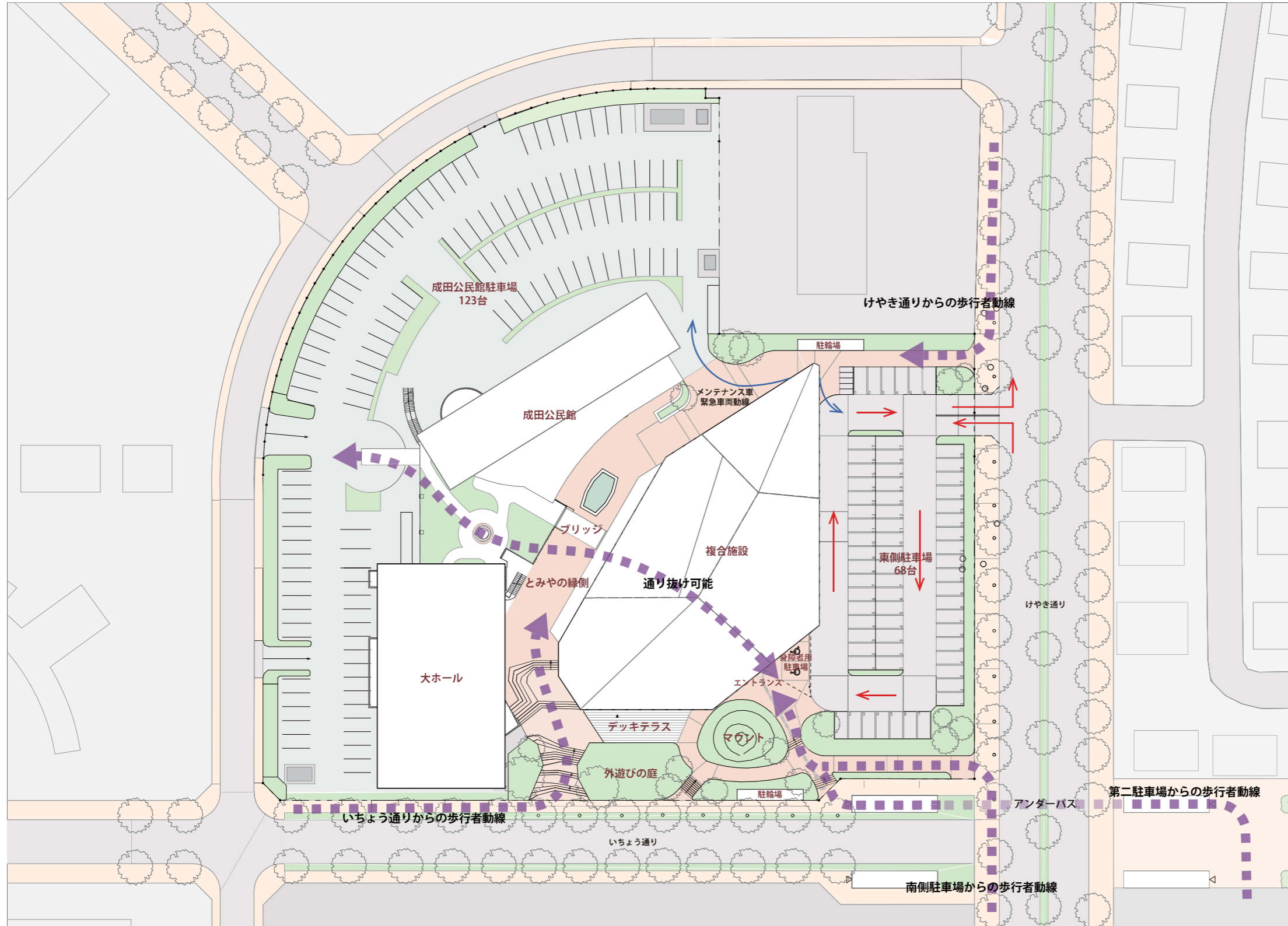
成田公民館と共生し、地域と環境をつなぐ「とみやの縁側」

成田公民館と本複合施設に取り囲まれた安全な「とみやの縁側」は、富谷ガーデンシティの円環状の街区や緑に呼応し、様々なアクティビティがまちの中に広がっていきます。周辺は車中心の生活環境ですが、歩行者動線を意識し、歩いて楽しいまちづくりにも寄与します。

敷地全体のランドスケープは勾配を利用して、スロープや段々状の床や緑陰駐車場をデザインします。本複合施設はボリュームを抑えた2階建ての建物とし、エントランスは利用者をやさしく招き入れます。

「とみやコネクトリング」でつながれた成田公民館と本複合施設は、両施設の運営連携や維持管理、施設の相互活用を行い、市民へは生涯を通じた知的創造の文化装置として継続したサービスを行ないます。

成田公民館の図書室が移転した後は、市民活動をサポートする居場所にもなります。



■南東から望む



■東から望む



■いちよう通りからとみやの縁側へのアプローチ

■配置図 (1/800)

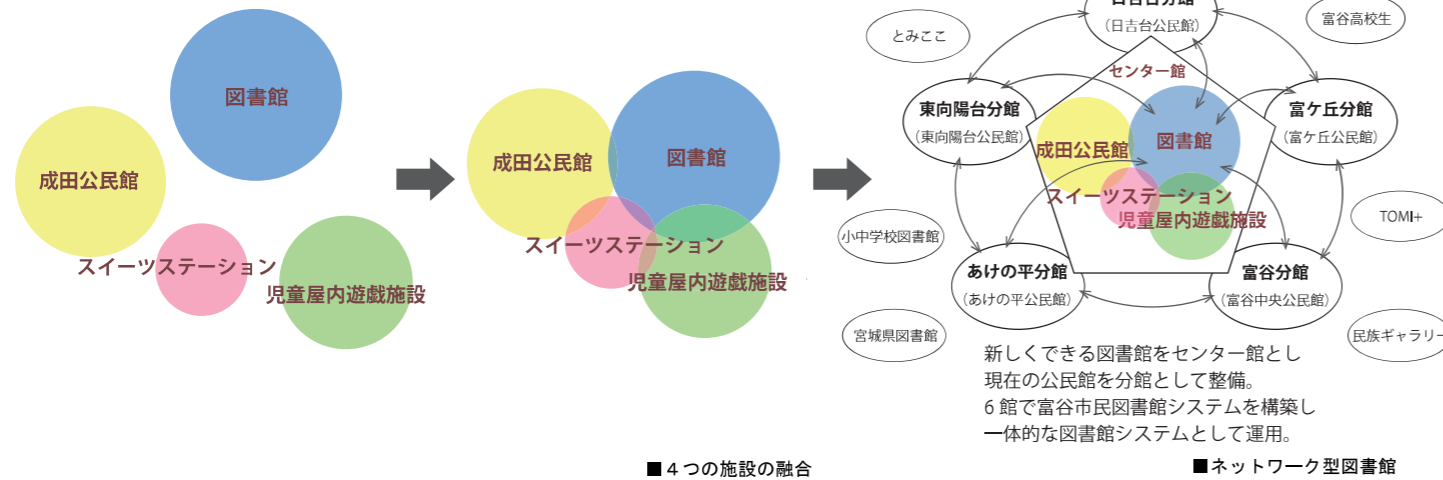
<p>ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p>	<p>Engineer</p>	<p>Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計</p>	<p>Note</p>	<p>Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 配置計画</p>	<p>Scale N.S.</p>	<p>Drawing No I.03. 01</p>
-----------------------------	-----------------	---	-------------	--	---------------------------------	-----------------------	------------------------------------

計画説明書【平面計画】

施設配置及びフロア構成と各機能のゾーニング計画
 「とみや学びと交流の広場」を核として全ての機能が繋がる空間

各施設の充実を図るために成田公民館と本複合施設を連携し、「とみやコネクトリング」でつなぎます。今までどおり西側駐車場利用者も、新たにできた東側駐車場利用者も双方の建物を通り抜けてどちらへもアクセス可能です。

本複合施設の共有エントランスに入ると、北側が市民図書館、南側が児童屋内遊戯施設、西側が公民館へと緩やかなスロープで繋がります。中央のブックラウンジは、上昇する「とみやコネクトリング」に囲われ、ひと・もの・ことが出会う市民活動の広場です。ここには図書館の大きなサービスカウンターを設け、セルフサービス機能をここに集約します。スイーツステーションはこの広場に融合して配置します。運営の異なる機能が混在しても、有料ゾーンの設定、異なる開館時間に対応可能な仕掛けをつくります。2階図書館へ上がる「とみやコネクトリング」には本棚やベンチなどアクティビティを誘発する仕掛けをつくります。2階はフラットな床とし、大きなワンルームの屋根の下にニーズに合わせてオープン、セミオープン、クローズドな小部屋やコーナーを仕切りや家具でつくります。児童屋内遊戯施設は南側1-2階に配置され、屋外のランドスケープとのつながりを促し、気候の良い時期には、外でも遊ぶことのできる広がりをつくります。



■ 4つの施設の融合

■ ネットワーク型図書館

多様なニーズを持った全ての利用者に配慮したアクセシブルな施設
 インクルーシブな回遊空間「とみやコネクトリング」

健常者とハンディキャップを持った人が同居するインクルーシブな空間を目指します。本施設は、すべての場所の主な移動はスロープで行います。

「とみやコネクトリング」の回遊動線により、視界をつなぎ、見守りができることで館内外の安全性を担保します。また子育ての視点でも、様々な場面を見渡せることで、次の成長段階への見通しや好奇心を持てるようになります。一方でメイン動線から離れた静かな場所も用意し、時には一人になるそれぞれの居場所も用意します。

1階図書館受付デスクからは館内全体の様子が伺え、利用者にとってもスタッフの居場所が分かりやすく拠り所となります。通常の本の貸し借りだけでなく、来館者へ生きた情報のアクセスをお手伝いする場所となります。

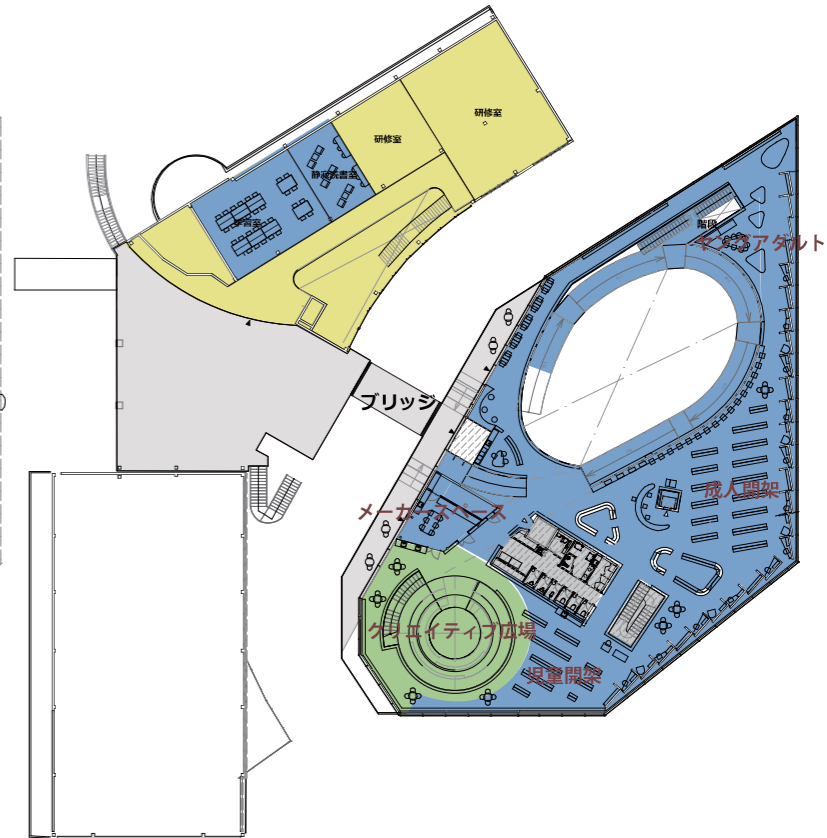
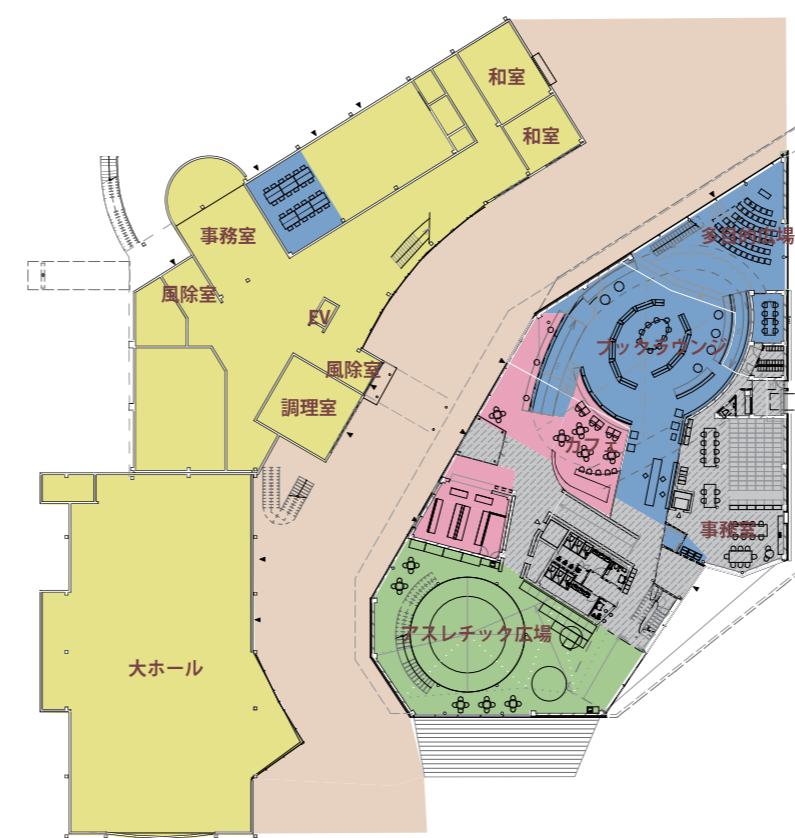
市民参画のワークショップにより、インクルーシブデザインのためのユーザー中心、参加型デザインの方法について提案します。ふらっと訪れた人にとっても居心地の良く、発見のある街場のような施設を目指します。



■ 4つの施設の融合



■ 4つの施設をとみやコネクトリングがつなぐ



■ 4つの施設の融合

ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体 Engineer	Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計	Note	Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI	Name of Drawing 平面計画1	Scale N.S.	Drawing No 1.03.02
----------------------------------	--	------	---	---------------------------------	---------------	-----------------------

計画説明書【平面計画】

富谷市民図書館/市民の、市民による、市民のための知の広場 ネットワーク型図書館

公共図書館は、全ての市民に開かれ、無料で滞在できる広場として空間とサービスを提供してきました。ウィズコロナでは、実空間と情報空間がクロスオーバーした新たな図書館が求められています。在宅勤務やweb授業の普及により、自宅周辺でのサードプレイスや資料閲覧を求めて図書館利用のニーズが増えました。デスクは図書閲覧だけでなく、web会議や授業などワークプレイスとしての利用も望まれます。

また、コロナ禍で急速に普及したDXによって、災害や感染症に襲われた時、実空間を閉鎖しても情報空間での社会活動が可能であることを、身をもって実感しました。デジタルによる文化や情報の提供が今まで以上に求められており、地域図書館、学校図書館、県立図書館と連携し「富谷の知の環」としてのネットワーク型図書館を標榜します。デジタル化が進めば「とみや学びと交流の広場」は時間外利用できるセルフサービスの図書館機能も充実します。地域のデジタルアーカイブが構築され、「とみや」が世界に発信されると、「住みたくなるまち」「行ってみたいまち」に「いいね！」がつき、リツイートされ、まちは世界中から「愛されるまち」になるでしょう。

一方で、情報がいつでもどこでも得られるようになった今だからこそ、デジタルのみに偏ることなく、人と人・人との・人と情報をつなぐ対話のできる「生きた建築」で直接ふれあい、互いに触発しあうことが大切です。アナログとデジタルがバランスよく編みこまれた市民のための知の広場を提案します。

スイーツステーションを中心とした交流ロビー

富谷ブランドを起業するスイーツステーションに期待する市民の声をいただきました。一方で、工房、ショップ、カフェが分散配置では運営側の負担が懸念されたため各機能をできるだけ近くに再配置し、図書館、児童遊戯、成田公民館のハブとなる位置に計画しました。ここは来館者にとっても視認性が高く、観光や市民交流の拠点として気軽に利用できるような運営を期待します。カフェはブックラウンジに隣接しており、座席は営業時間外は図書閲覧席としても利用可能です。

スイーツステーション/スイーツによる交流や創業支援 「とみやシティブランド」を培うパフォーマティブなスイーツステーション

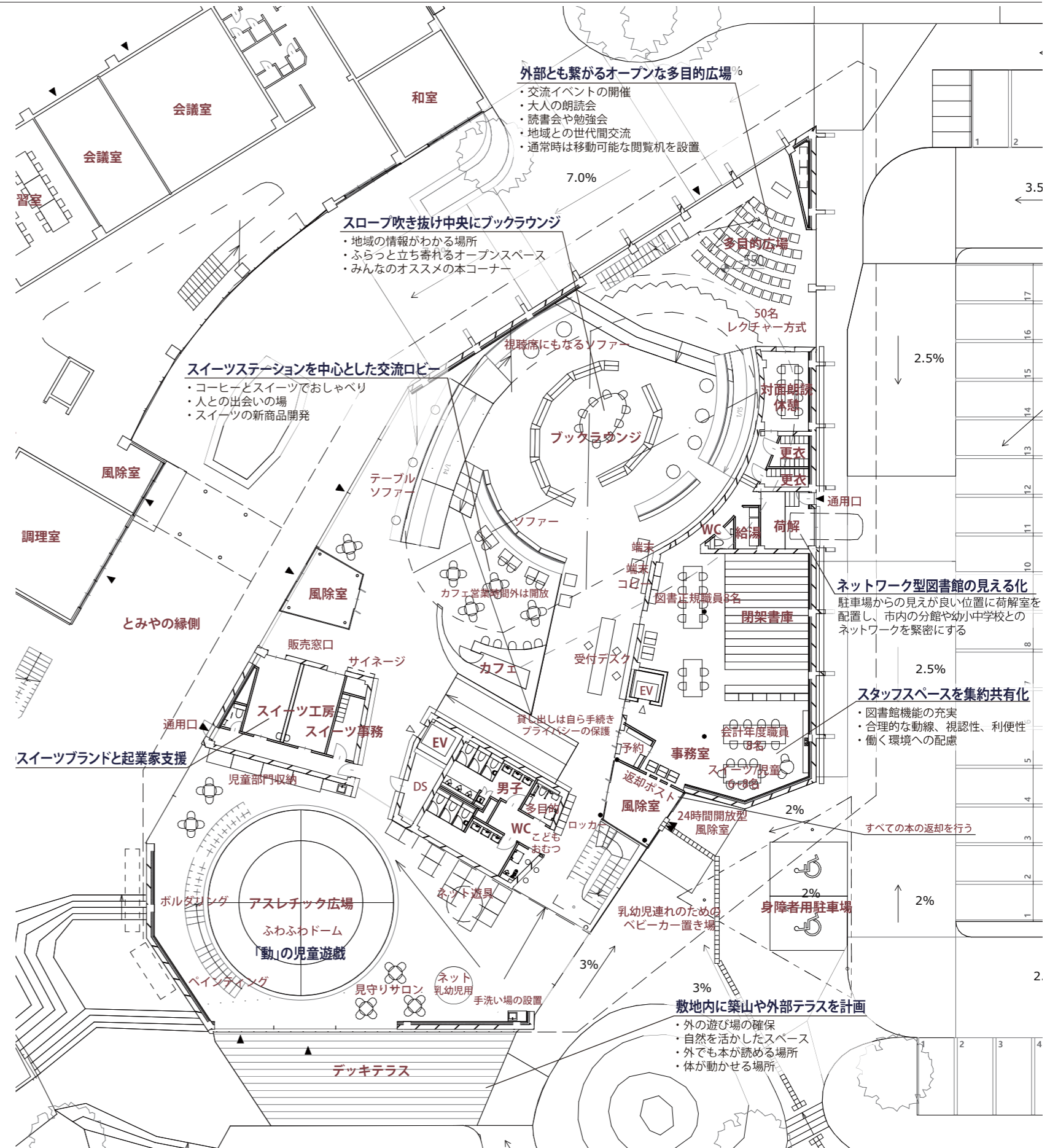
カフェやスイーツ工房を施設を中心に計画し、スイーツ文化を創作・発信する「パフォーマティブ空間」とします。これらをエントランスホールと一体化し、来館者が必ずスイーツ情報に触れられるような仕掛けとします。外から活動が見えるスイーツ工房で起業家たちは開発プロセスを市民に披露し、試食する人、企画アイデア出しをする人、参考の「ほん」を紹介する人など様々な市民が参画します。ここではインキュベーション(起業支援)が実践され、培われた「知」をドキュメントとして図書館で保存・公開・更新します。これらの試行が「とみやシティブランド」で自慢したくなるまちづくりを実現します。

スタッフスペースの集約共有化

富谷市で初めての図書館とあって、市民ワークショップでは図書サービスや長時間開館による利便性の向上などの期待が寄せられました。これらを達成するために、スタッフの拠点や受付デスクをできるだけ館の中心でエントランス付近に計画し、合理的な動線、視認性、利便性に配慮しました。なお図書館、児童遊戯、スイーツステーションの事務室やバックヤードを共有化し、円滑なコミュニケーションを促すと同時にスペースの省力化を図りました。

駐車場の見直しと緑化広場計画

今までこの敷地が公園であったこともあり、特に子ども連れの利用者からは外部で遊ぶ場所を確保してほしいという要望をいただきました。エリア全体の駐車場計画を見直すことで、プロポーザル時の敷地内に要求された駐車台数を減らすことが可能となり、児童遊戯施設1階とつながる位置にテラスや築山などの緑化広場を新たに計画しました。



■ 1階平面図 (1/300)

ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体	Engineer	Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計	Note	Date 2023/03/17	Name of Drawing 平面計画2	Scale N.S.	Drawing No I.03. 03
----------------------	----------	--	------	--------------------	---------------------------------	---------------	---------------------------

計画説明書【平面計画】

図書館と公民館の相互利用

市民ワークショップには様々な年齢層の市民に参加いただき、各所に居場所、サードプレイスとなる無料の空間を設けてほしい、静かに勉強できる環境がほしいなどの声を多くいただきました。

富谷市民図書館整備管理運営計画では、閲覧、学習席数は135席の想定でしたが、これ以上の座席や様々な居場所を設けるために、学習室、静寂読書室を成田公民館内に再配置して空間にゆとりを創り出し、座席数を252席に増やすことを実現しました。

公民館と図書館は2階のブリッジで行き来が可能とし、公民館内に設けられた学習室、静寂読書室は図書館の管理下とします。公民館1階の既存図書室の一部を学習室、公民館2階の西側の研修室を学習室、静寂読書室とし、その他のこれまで利用されている研修室、会議室も再配置することで、これまでの利用状況に支障をきたさない計画としました。

図書館と児童屋内遊戯施設の融合

市民ワークショップには子育て世代の参加も一定割合あり、児童のみや親子連れが安心して過ごせる居場所やサービスを求める要望をいただきました。これらを実現するために、図書館の児童書エリアと児童屋内遊戯施設の2階「静」のエリアとの融合を図るクリエイティブ広場を計画しました。児童遊戯の創作活動のみならず、児童閲覧、読み聞かせなどにも利用でき、空間にゆとりを持たせると同時に、利用者にとっても分け隔てのないサービスを受けることができます。

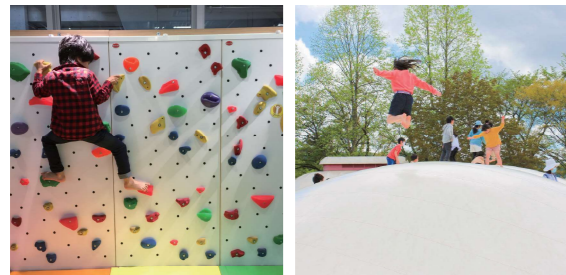
児童屋内遊戯施設/子どもたちの発育・発達状況に応じて遊べる空間

「あそび」が「知」や「学び」につなぐ

こどもの遊びは、発育・発達段階により、スケールや様態が異なります。1階は、屋内で伸び伸びと遊べるアドベンチャー空間。2階は集中できる創造活動空間。館内には多様な場を提供します。また室内だけでなく「とみやの縁側」を介して公民館大ホールともつなぎ、屋内外で遊びが展開します。

こどもの遊びが、知につながり、知の装置である図書館と連携し、遊びや子育ての情報に出会えます。コロナ禍で家庭に閉じこもりがちな環境から、遊びや子育ての豊かな時間を安全安心且つ平等に享受できる環境をつくり、地域で子育てを支えるまちづくりを実現します。

■1階アスレチック広場の活動イメージ

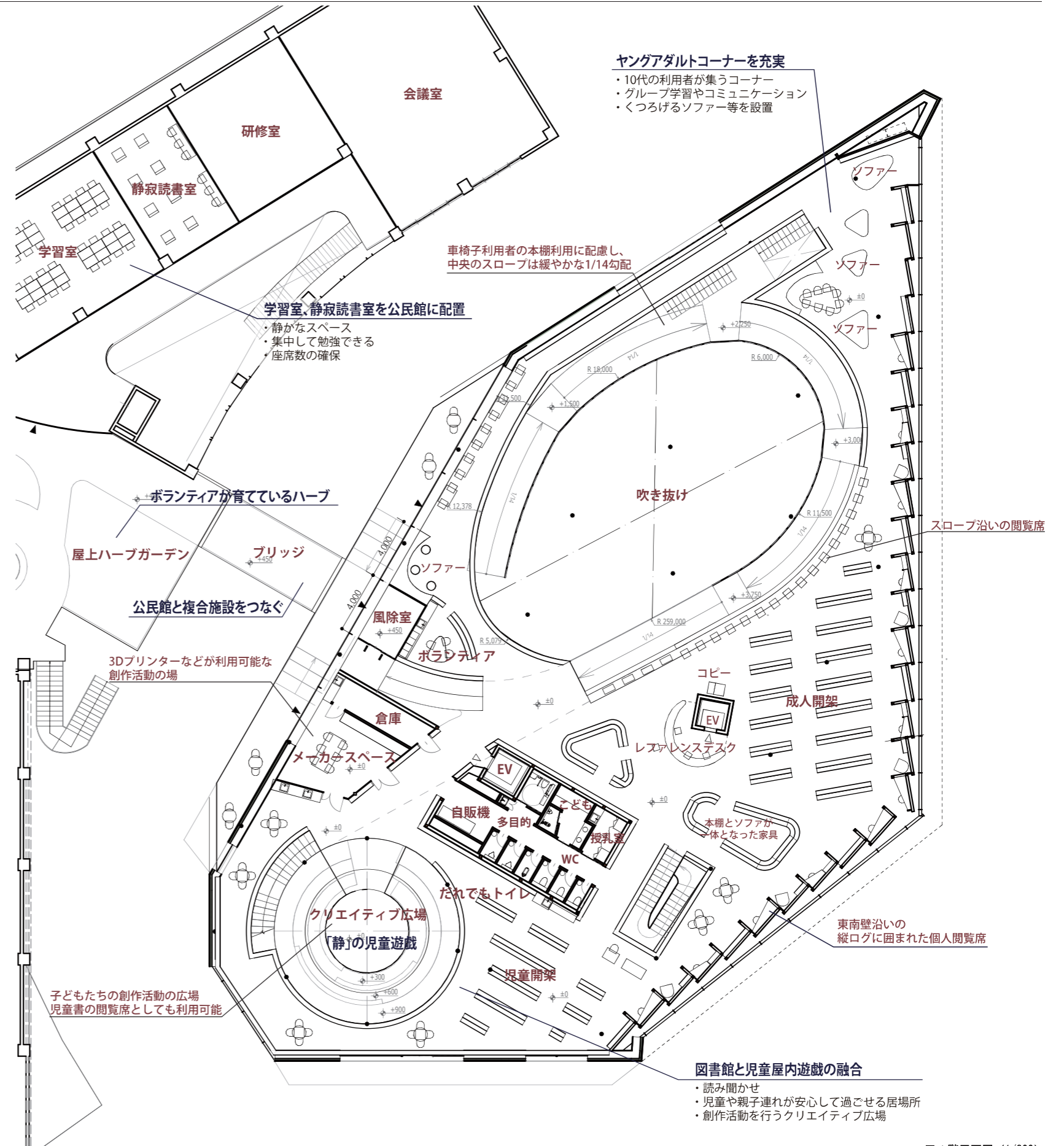


■2階クリエイティブ広場の活動イメージ



音環境への配慮

市民ワークショップでは図書館と児童遊戯施設が一体空間の中にあることで、音環境に対する懸念をいただきました。そこで、児童屋内遊戯施設の1階を「動」、2階を「静」と切り分け、1-2階をつないでいた吹き抜けを階段部分に縮小することで、できるだけ音の伝搬を防ぐ計画としました。また複合施設は「集」「動」である交流やコミュニティの場を求められており、音環境の多様性が求められています。その中でも「個」かつ「静」の音環境を最も求められる学習室と静寂読書室を成田公民館に配置して複合施設と切り分け、クレームを回避できるようにしました。



■1階平面図 (1/300)

ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体	Engineer	Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計	Note	Date 2023/03/17	Name of Drawing 平面計画3	Scale N.S.	Drawing No. I.03.04
----------------------	----------	-------------------------------------	------	--------------------	--------------------------	---------------	------------------------

計画説明書【建築性能】

ZEB化の提案および維持管理コスト低減

永く愛される施設をつくるエンジニアリング

■設計条件

- 1) 構造体 II類以上
- 2) 建築費構造部材 B類以上
- 3) 建築設備 乙類以上

■ZEB性能向上

建物の形状、配置、断熱性能などに配慮し、また創エネルギー(太陽光パネル等)を設置することで、「Nearly ZEB以上」を目指します。発電は本施設内で系統連系に利用し、蓄電池利用でピークカットし、ランニングコスト低減を図ります。場合によっては事業者によるPPA事業を行うことも視野に入れて地域全体で検討します。

■季節に応じた空調換気と断熱の考え方

空調・換気エネルギー使用は消費エネルギー量全体の約50%近くになり、十分な断熱を行なうことでこれを半減させます。通風を活用することで空調・換気エネルギーを削減します。中間期卓越風を十分に利用できるような南面に開口部を設け冬期の北西風を防ぐための気密性・断熱性に配慮します。

■Embodied Carbon

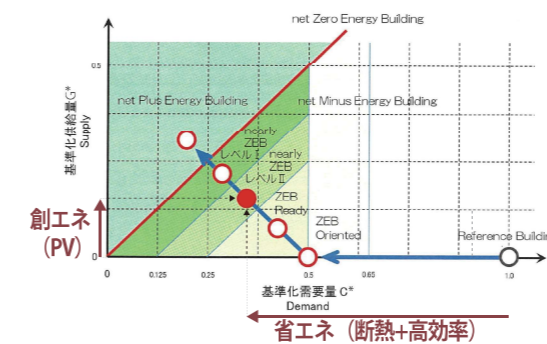
建築に関わるEmbodied Carbonに配慮し、富谷市「ゼロカーボン戦略」の先進事例とします。コンクリートや鉄に代わって木質木材を多く利用し、建物の各ライフステージにおいて温室効果ガス排出量を低減させます。

■建物の長寿命化

シンプルな構造や形状とし、間仕切りの変更や設備機器の交換など、時代の変化に対応します。設備や仕上げのメンテナンスサイクルに合わせて修繕しやすい工夫をします。

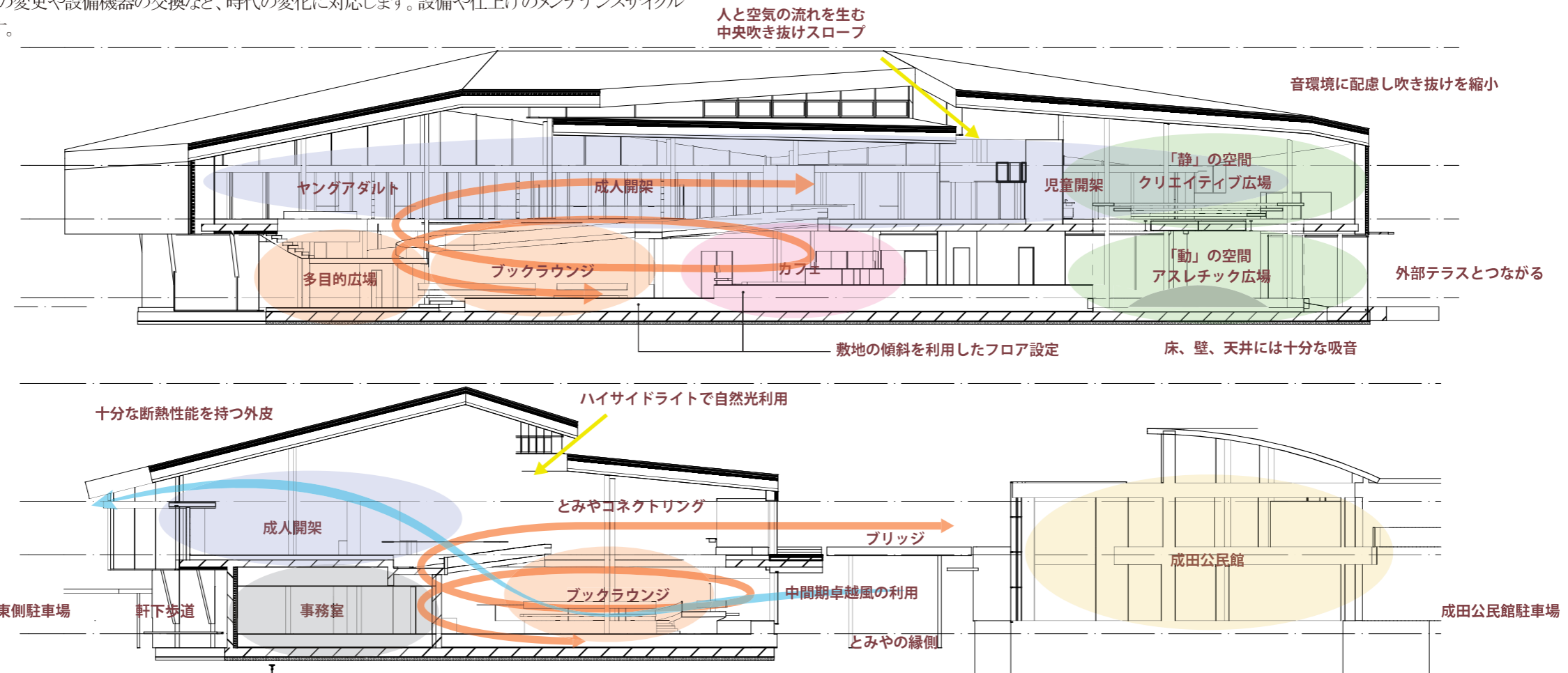
■レジリエンス(火災・地震への対応)

耐火性能を重視すると、今までの建築はどうしてもコンクリートや石膏ボードに頼らざるを得ませんでした。こういった従来型の工法に対して、森林の維持、環境の保全に配慮し、耐火建築物においても「木質化率」を高めることが望まれています。本計画は、耐震性能とのバランス鑑み、1階を鉄筋コンクリート構造、2階を鉄骨造とし、木質化率の向上を図るため2階の一部に縦ログ構法による木質耐力壁の併用を提案します。



■ZEBの段階的評価

ZEB Readyへは断熱と省エネで対応し、
Nearly ZEBへは太陽光パネル（勾配屋根上）で対応



■断面ダイアグラム (1/300)

<p>ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p>	<p>Engineer</p>	<p>Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計</p>	<p>Note</p>	<p>Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 建築性能</p>	<p>Scale N.S.</p>	<p>Drawing No I.03.05</p>
-----------------------------	-----------------	---	-------------	--	---------------------------------	-----------------------	-------------------------------

- 【構造種別】
- ・建物規模:地上2階
 - ・構造形式:1階:RC造主体とするS造との混構造
2階:S造 縦ログ構法による耐力壁併用
 - ・基礎形式:杭基礎
 - ・基礎構造:マットスラブ形式
- 【設計条件】
- ・構造安全性の分類 II類
 - ・建築非構造部材B類以上
 - ・重要度係数 I=1.25
 - ・地震地域係数 Z=1.0
 - ・設計積雪深 40cm

- ・構造計算ルートは以下とする。
耐震設計ルート3(混構造により保有水平耐力計算)
(建築基準法施工令82条各号~令82条の3に基づき、保有水平耐力計算を行う構造計算ルート)
- ・地震地域係数は1.0とする。(昭和55年建設省告示第1793号)
- ・「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」に従い、
構造体はII類、非構造部材はA類、設備は乙類の耐震安全性を確保する。これにより、重要度係数は以下を用いる。
1次設計:1.0、2次設計:1.25
- ・風荷重は地震荷重より十分に小さいことを確認し、水平荷重は地震荷重を用いる。

- 【行政手続き】
- ・耐震設計ルート3(混構造により保有水平耐力計算)
 - ・構造計算適合性判定:要

2F
ブレース付きラーメン構造 鉄骨造

- ・広く見通しの良い空間を確保するため
軽量の鉄骨造屋根を小径柱で必要最小限の柱により支持する
- ・耐震性能確保のための鉄骨造ブレースを適宜配置
- ・RC造の上に軽量の鉄骨造配置とするため
上下階で異なる用途に対応した比較的自由的な柱配置を可能とする
- ・縦ログ工法耐力壁配置により木質化率の向上かつ耐震性能余力向上要素として使用できる

鉄骨屋根
・屋根の軽量化
・2階柱本数、柱小径の最適化

フラットボイドスラブ
・躯体重量軽量化
・無梁版とすることで用途が異なる
上下階での配置設計の自由度確保
天井内設備配置フレキシビリティ確保

縦ログ構法の耐力壁

エキスパンションジョイント

1F
耐震壁付きラーメン構造 RC造 一部鉄骨造

- ・比較的安価で施工性の良い鉄筋コンクリート造
- ・1階平面計画に則した躯体耐震壁の配置による耐震性能確保
- ・無梁版とすることで用途が異なる上下階での配置設計の自由度確保
- ・天井内設備配置フレキシビリティ確保

杭基礎
・建物軽量化
で杭負担を軽減

マットスラブ基礎形式
・ボイド型枠併用による躯体重量軽量化
・基礎梁側面型枠不要による型枠工事費合理化
・基礎成縮小による土工事の合理化

鉄骨柱
・RC柱より小径

図書館等複合施設

成田公民館

<p>ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p>	<p>Engineer</p>	<p>Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計</p>	<p>Note</p>	<p>Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 構造計画</p>	<p>Scale N.S.</p>	<p>Drawing No 1.03.06</p>
-----------------------------	-----------------	---	-------------	--	---------------------------------	-----------------------	-------------------------------

計画説明書【ユニバーサルデザイン、サイン、色彩計画】

動線計画(外部からのアプローチ)

・現状
 なだらかな丘陵地に立つ敷地内には北西と南東では約3mのレベル差があります。

現在は、車での来館者は公民館西側から入場するか、南東の第二駐車場に停めてアンダーパスを昇降しています。歩行者や自転車は東側のけやき通りか西側駐車場からのアプローチに限られています。なお、南側のいちよう通りとは落差があり、垣根やフェンスで閉じられているため行き来ができません。

・計画
 今後は、車での来館者は今までの駐車場に加えて、東側の新たな駐車場や南側駐車場にいちよう通りから入場できます。南側駐車場に停めた来館者は、アンダーパスを使わずに地上を徒歩でアプローチできるようになります。なお、南側の境界になだらかなランドスケープデザインを施すことで、いちよう通り歩道と敷地の一体感をつくり、南西側からの徒歩や自転車の利用者が来館しやすい整備をいたします。



■いちよう通りからは垣根やフェンスによって行き来ができない

動線計画(敷地内・館内)

成田公民館と本施設は駐車場を結ぶように通り抜けが可能です。本施設の1階は東西の段差を解消するように館内のスロープで自然につながります。

敷地内屋外は車椅子や台車等の利用者のために1/20程度の動線を確保し、館内にはどこでも1/12程度のスロープで到達できるようにいたします。上下動線にはエレベーター(車椅子がカゴ内回転できる11人乗り以上)を設置します。



■いちよう通りからのアプローチ

誰にもやさしい水回りの計画

本施設には様々な利用者が来館します。すべての利用者が快く過ごせるために各回に水回りの配慮をいたします。建築的には、男女分けた集合トイレ、全個室の誰でもトイレ、多目的トイレ、こどもトイレを計画し、設備的には洋便器(洗浄機能付き)、和便器、小便器、オストメイト、手洗い器を設置。そのほか、チャイルドホルダー、オムツ替えベビーシート、大人用折りたたみベッドなどの設置をいたします。授乳室には流しを設け、トイレとは独立して計画します。

サイン・色彩計画

- サインや色彩計画は様々な目的に応じて利用できるように配慮いたします。
- ・トイレや水回りのサインはわかりやすく明示します。
- ・スロープと平らな部分との境目は配色で注意喚起を促します。
- ・図書館排架案内は運用によって変更が生じるため、建築に固定しない方法で工夫します。
- ・書棚排架サインは現地職員が容易に変更できるような仕組みとします。
- ・色彩は館内が自然光で明るさ感を感じられるような配色と素材を選定いたします。

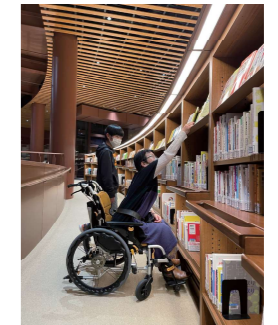
スロープ書架実証実験

スロープに面して書架を計画している以下の施設で、実際の車椅子に乗り、勾配やスロープ書架の高さ等について検証を行いました。

- ・太田市図書館・美術館(2022/12/15)
- ・石川県立図書館(2022/12/27)



■太田市美術館・図書館



■石川県立図書館



■各機能がスロープでつながる

<p>ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p>	<p>Engineer</p>	<p>Project Title 富谷市民図書館等複合施設整備基本設計</p>	<p>Note</p>	<p>Date 2023/03/17 Drawn by H. SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing ユニバーサルデザイン・サイン・色彩計画</p>	<p>Scale N.S.</p>	<p>Drawing No. 1.03. 07</p>
-----------------------------	-----------------	--	-------------	--	---	--	---